

# 特定非営利活動法人 都市デザインワークス

～都市の将来像を提案し、市民・企業・行政と共有し協働で実現する市民提案型まちづくりにむけて～

Urban Design Works, N.P.O.

## (1) 設立趣旨(設立趣旨書抜粋、2002年)

「これまで都市づくりは、主に行政と民間企業が担ってきました。行政主導の都市計画は、公平性・平等性を重視し、個性あるまちをつくる考え方は希薄でした。民間企業による都市開発は事業性を優先するあまり都市全体からみた位置づけや周辺の住民や環境に対する配慮まで手が回りません。また、それらに反対するかたちで起こる市民運動にも、都市の将来像を欠いていることが多かったのではないかでしょうか。

それぞれが都市の将来像を持たず、それぞれの想いで建設活動を進めた結果、様々な都市問題が顕在化しています。

一方、暮らしやまちを豊かにしたいと自ら行動する市民活動が各地で盛んになっており、これからは市民のニーズや活動を都市づくりに活かす、新たな社会システムの構築が求められています。(中略)個々の利益ではなくみんなの、まちの利益のための新たな都市づくりの中核をなす組織を立ち上げなければなりません。

私たちは、都市づくりに関する幅広い専門知識を構築し、長期的・持続的・総合的な視点のもと、都市の将来像を具体的に分かりやすく示し、それを市民・企業・行政みんなで共有するとともに、その実現に向かって様々な主体と連携をとり市民のニーズを汲み上げ、企画から運営まで携わる一貫した都市デザインとして実践していきます。」

以上が当法人(以下、UDW)設立の趣旨である。具体的なまちの将来像、空間像が無い、或は共有されていなかったために、本来、総合的な視点で捉えるべきまちの有り方が、全国一律の法制度か局所的・個別の制度対応に終始し都市環境とその価値が瓦解しつつあることに対して、高まる市民社会の到来に相応しいあり方に転換することを目指している。都市デザインを中心に多様な専門家・実務者が集いUDWを結成し、市民の潜在的なニーズを引き出すNPO(New Public Organization)としてまちの将来像を提案することから活動をスタートした。

## (2) 事業概要

### 都市ビジョン提言事業【自主事業】

#### ●仙台都市デザインマスターplan('02~'03年度)

UDW最初のプロジェクト。仙台の都市の現況について、調査データを誰もが直感的に理解できる図やグラフに示しながら、都心部の30年後の姿を提案した。専門家とのセッションや市民向けの「百万人の仙台都市デザインフォーラム」も開催し、提案の深化を図った。

#### ●せんだいセントラルパーク('04~)

仙台都心を流れる広瀬川流域一帯は歴史的にも景観的にも仙台のシンボルとして捉えられているが、市民の利用実態とは乖離がみられたことから、このエリアのポテンシャルを十分に引き出し「杜の都仙台」の生活文化を体现する場へと市民、企業、行政が連携するデザイン協調による整備を提案している。UDWの前身ともいえる東北大学の研究室での2000年のプロジェクトを引き継いだ。市民の潜在的なニーズを導き出し計画を作るというプロセスに重点を置いた。(後に詳述)

### まちの基本情報の提供・出版事業

まちづくりの気運の醸成とともに、市民がまちづくりに必要な基本的な視点を備えるための機会を提供している。

- ・WEBサイトによる情報発信

- ・提案書、まちのガイド小冊子等の出版

- ・都市デザイン塾「市民提案型まちづくり入門」:市民を対象に、都市デザインの考え方や都市計画制度について学ぶ3回連続講座を実施。

### ワークショップファシリテーター・講師派遣事業

経済界、市町村からの要請で講師を派遣する他、市民のまちづくりの相談に対応する「出前講座」も行っている。

### 調査・研究・コンサルティング事業【受託事業】

#### ●東北大学雨宮キャンパス跡地まちづくり検討業務

仙台都心に隣接する大学の移転跡地(予定)の利活用について、仙台商工会議所が事務局を務め、宮城県、仙台市、東北

大学、学識経験者などで構成される委員会に参加し、地域の分析や計画条件の整理、関係主体の調整などを経て、地区整備方針や土地利用イメージなどを盛り込んだ提言書をまとめた。

### ●幕張ベイタウンH2-2街区計画設計調整等業務

千葉県企業庁が主導で「住宅で街をつくる」というコンセプトの沿道型都市空間を構成する民間の集合住宅街区(366戸)建設にて、民間コンサルタントと共同で街区マスタープラン、計画設計調整協力、外構・共用棟などの設計監修を行った。

幕張ベイタウンが10数年かけて都市デザインのクオリティを実現してきた土台である計画デザイン会議と都市デザインワークショップのシステムは、景観法における景観地区の認定制度の先行事例として、今後の他地域への波及が期待される。

### (3) 「マイマップづくり」市民提案型まちづくり手法の開発

行政が行うパブリックコメントは、計画の大枠が決まった時期に行われるが多く、寄せられた市民の意見や想いを反映する余地は少ない。また、市民の意見の中にも身近な問題に対する(苦情とも取れる)意見が少くない。これは、長期的なまちづくりを考えることに市民が慣れていないことと、必要な情報の量と質が乏しいことに起因すると考えられる。

そこで、UDWでは、

- ①計画検討段階から気軽に市民参加を促し、まちづくりを考える基本情報を提供する。
  - ②市民のまちづくりへの想いを引き出す。
  - ③専門家NPOであるUDWがそれらを整理し、まちづくり計画に反映し行政に提案する。
- というプログラム開発を目指した。

「せんだいセントラルパーク構想」の検討にあたり、様々なアプローチによって基本的な情報をわかりやすく提供した。地区的歴史や景観などの調査結果を整理した「ガイド小冊子」、専門家・行政・市民活動家をパネリストとした「フォーラム」、専門家の解説とともにまちを巡る「ガイドツアー」、まちの現状や将来像のたたき台をパネルや模型で展示・気軽に意見交換ができる「都市デザインセンター」を実施した。これらを体験した市民に、感じたことや発見したことをマップにアイコンシールを貼る「マイマップづくり」に取り組んでもらった。

UDWが種々の調査をふまえて構想した素案に、成果物である約150のマイマップなどによる市民の意見や想いを分析し、提案をまとめ「都市デザインガイドブック せんだいセントラルパーク2006」を出版した。地域の個性を読み解き、人々の想いを引き出し、将来像を描き提案するという3年にわたる実績



を踏まえて市民提案型まちづくりの実践的指南書をめざしました。この本を元に、仙台市の企画市民局長などと意見交換を行った。また、書籍化により全国へ活動を伝えることが可能となった。

なお、この一連の取り組みは「せんだいセントラルパーク・デザインセンター～マイマップづくりによるNPO版パブリックコメント～」として、第4回日本都市計画家協会賞特別賞を受賞するなど高い評価をいただき、私達の大きな励みとなっている。

「マップにアイコンシールを貼る」という手法は、誰もが楽しくながら気軽に取り組め、具体的にビジュアルに表現されるため、まちづくりの初動期から広範な市民参加と情報共有に有効である。地域やテーマに合わせたベースマップの設定や、アイコンの変更も容易なため、汎用性も高い。今後も改良を加え、市民社会の新たな都市像を実現するツールに育てたい。

### (4) 今後の課題

より多様なまちづくり参画の機会を市民に提供するために、民間企業や行政などの組織体との連携を進めていきたい。

NPOデータ表

組織名	特定非営利活動法人 都市デザインワークス
代表者名	代表理事 柳原 進、佐藤 芳治
連絡先	事務所:宮城県仙台市若林区土樋13-3 TEL984-0065
TEL/FAX	022-264-2405 (FAX兼用)
URL	<a href="http://www.udworks.net/">http://www.udworks.net/</a>
E-Mail	info@udworks.net
設立及びNPO認証年	2002年
理事(人数)	4人
事務局(人数)	3人(非常勤含む)
会員(人数、会費等)	運営会員 11人(年会費1万円) サポート会員 3団体、23名 (年会費/口: 団体2万円、個人5千円)
事業規模 (年間総事業費)	約900万円
主な活動・事業実績	本文中に記載。その他の事業として ・広報サポート事業 ・インターネットの受入れ など
その他 (関連出版物等)	都市デザインガイドブック～せんだいセントラルパーク2006 (ISBN4-9903241-0-2 / 2,000円)